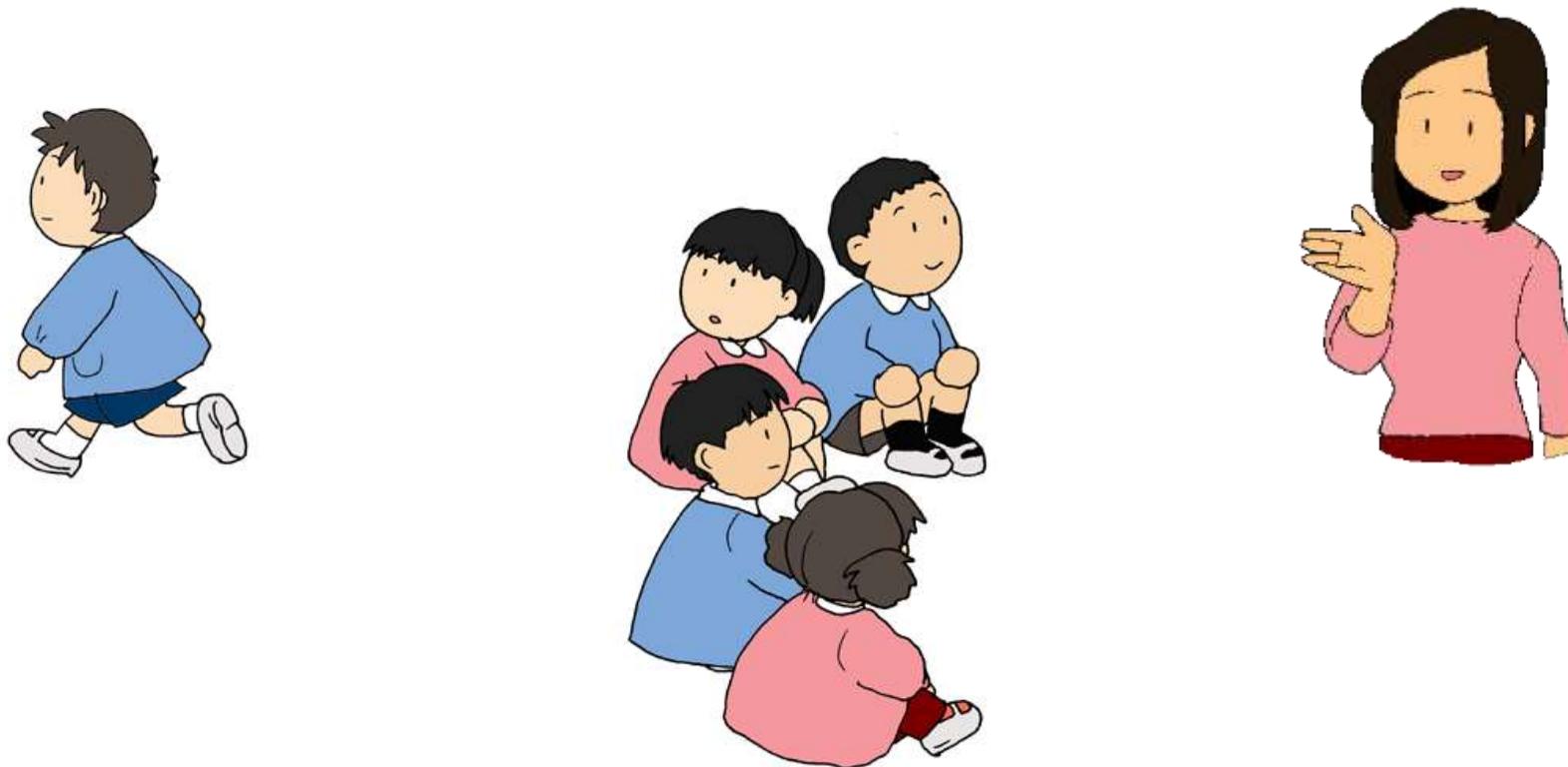


気になる子どもの理解と支援

# 子どもの行動が気になる①



先生の話聞く時間に、教室から抜け出してしまおう・・・

## 子どもの行動が気になる②

気に入らないことがあると、たたいたり、かみついたりする



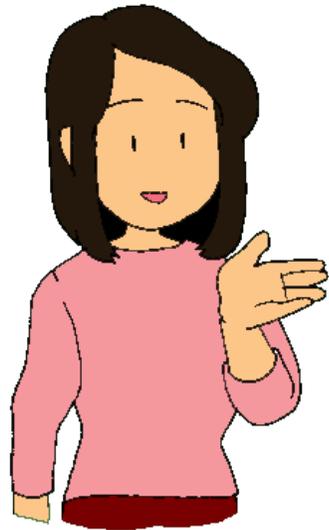
時々、物や友達のことを壊してしまう

パニックを起こして暴れる



職員室の一角で休むスペースを作ってもらっている

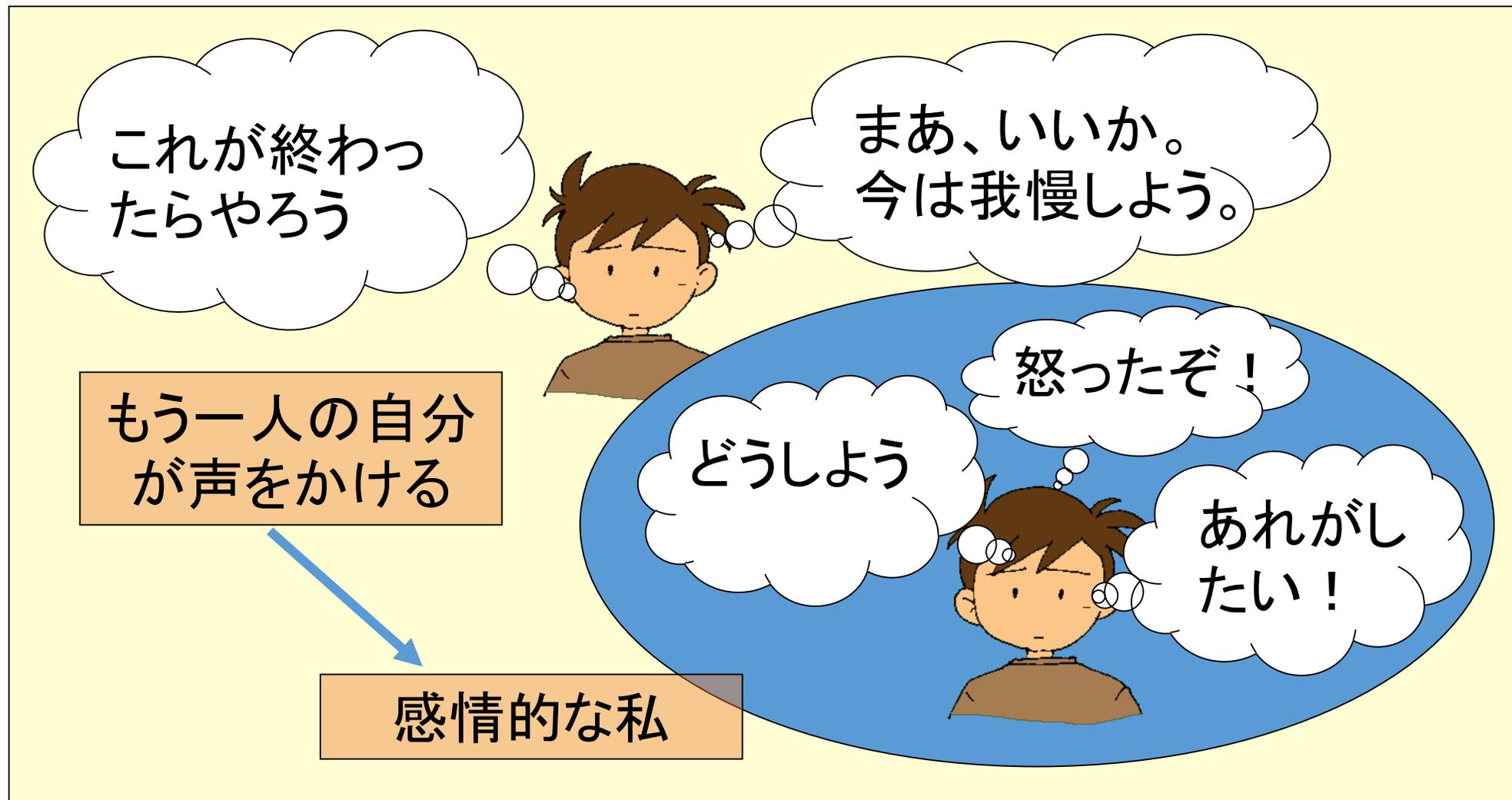
# 発達障害なのか、発達の途中なのか・・・？



すべてのケースが発達障害というわけでは  
ありません。

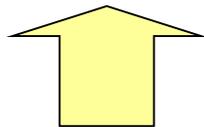
一人ひとりに合った関わり方を工夫して行っ  
ていくことは大切です。

# 落ち着いて行動できるようになるには？

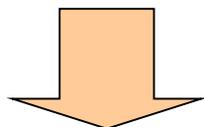


# 幼児期から学童期への発達

どうしてそうなったの  
かを考える



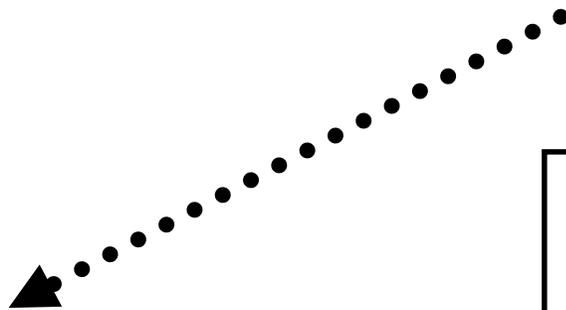
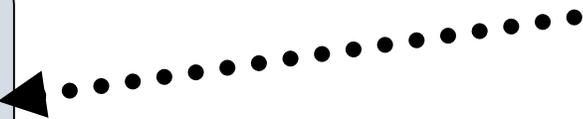
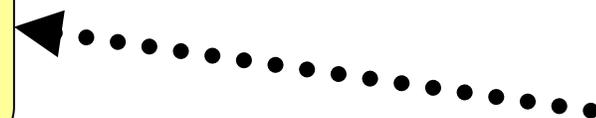
今、起こっていること  
を理解する



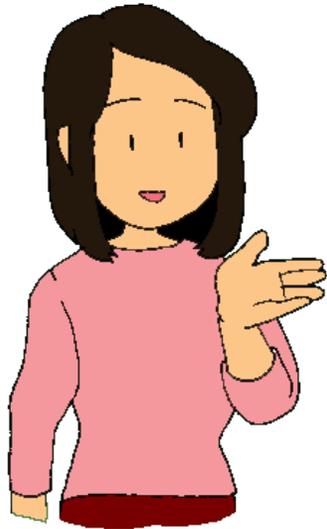
次に同じことが起こった  
ら、どうするかを考える



自分のことを  
自分で振り返る



# 相手の気持ちを理解するには？



表情(視線:アイコンタクト)

口調(イントネーションや語勢)

好きな人に近づき距離を縮める

手をつないで気持ちを伝える



# 相手の気持ちを理解できるように働きかける

その表情は  
「やりたくない」  
という気持ちだね



どんな気持ちだ  
かわかる？

嫌なとき、嬉しいときに表情  
やジェスチャーで伝える

相手のジェスチャーや表情  
の変化をキャッチする

# 発達障害かもしれないと思ったら…？

発達支援センター

教育委員会

保健センター

一人で抱え込まずに、相談できる機関を見つける



制作：新井英靖（茨城大学教育学部）

ナレーション：戸井田莉奈